

～調査結果の概要～

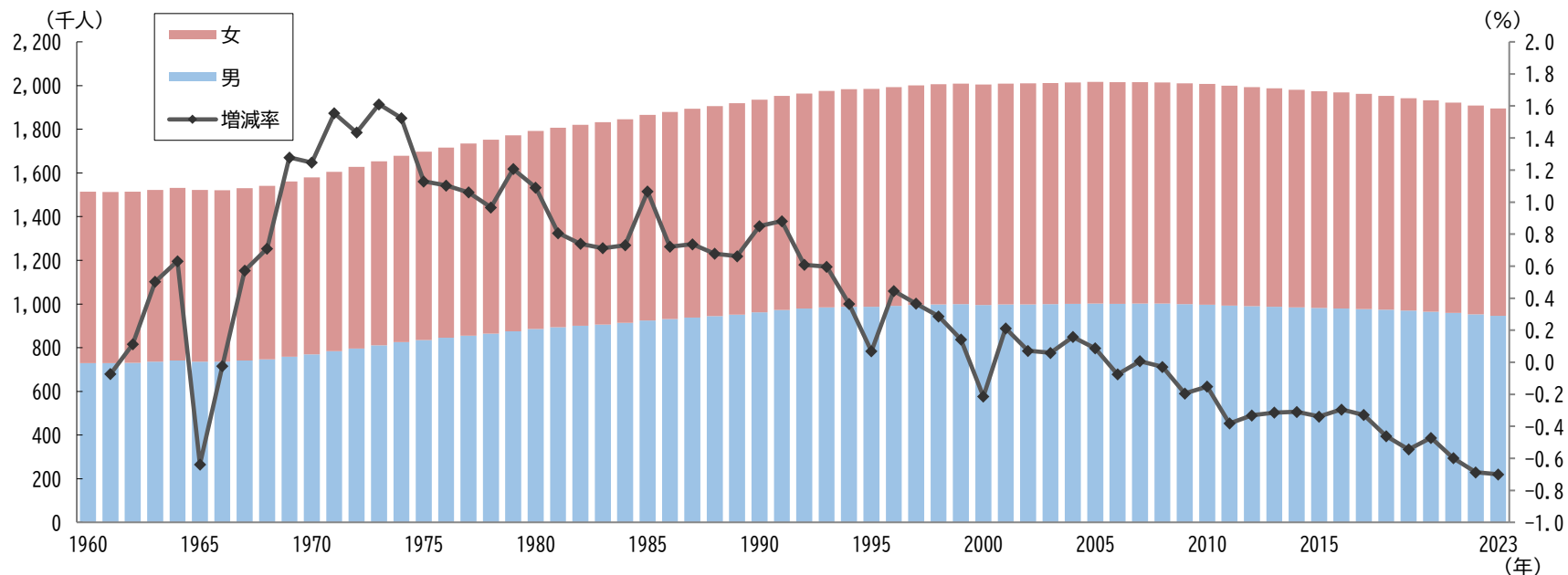
1 本県の人口

令和5(2023)年10月1日現在の本県の総人口は、1,895,025人で、令和4(2022)年10月1日現在に比べ、13,355人の減少(増減率は▲0.70%)となった。

〈令和4(2022)年10月～令和5(2023)年9月中の人口増減〉 (単位:人)

区 分		総 数	男	女	外国人(内数)	
令和4年10月1日現在		1,908,380	951,965	956,415	39,132	
人口増減	自然動態	出 生	10,418	5,368	5,050	311
		死 亡	25,400	13,081	12,319	87
		自然増減①	▲14,982	▲7,713	▲7,269	224
社会動態	社会動態	転 入	70,560	39,565	30,995	16,399
		転 出	68,933	38,238	30,695	12,430
		社会増減②	1,627	1,327	300	3,969
人口増減①+②		▲13,355	▲6,386	▲6,969	4,193	
令和5年10月1日現在		1,895,025	945,579	949,446	43,325	

〈総人口及び対前年増減率の推移(昭和35(1960)年～令和5(2023)年)〉



2 自然動態

(単位:人)

令和4(2022)年10月1日～令和5(2023)年9月30日の自然増減数は、

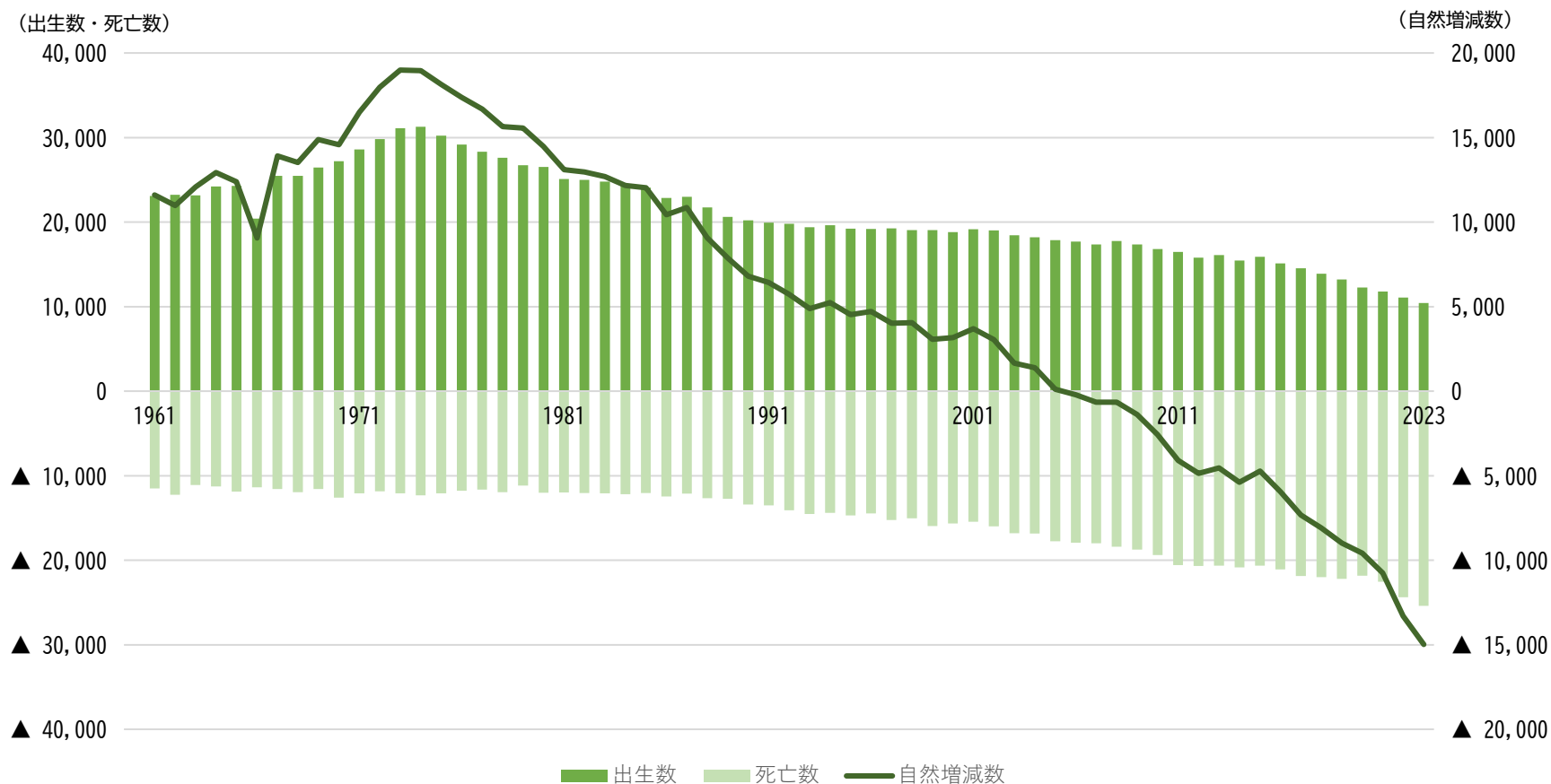
▲14,982人で、過去最大の減少数となった。

出生数は10,418人(対前年643人減)で過去最少となった。

死亡数は25,400人(対前年1,030人増)で過去最多となった。

	R5. 10. 1現在	R4. 10. 1現在	対前年比
出生数	10,418	11,061	▲643
死亡数	25,400	24,370	▲1,030
自然増減数	▲14,982	▲13,309	▲1,673

〈自然動態の推移〉



3 社会動態

(単位:人)

令和4(2022)年10月1日～令和5(2023)年9月30日の社会増減数は、1,627人の増加となった。

転入数は70,560人(対前年1,438人増)となった。

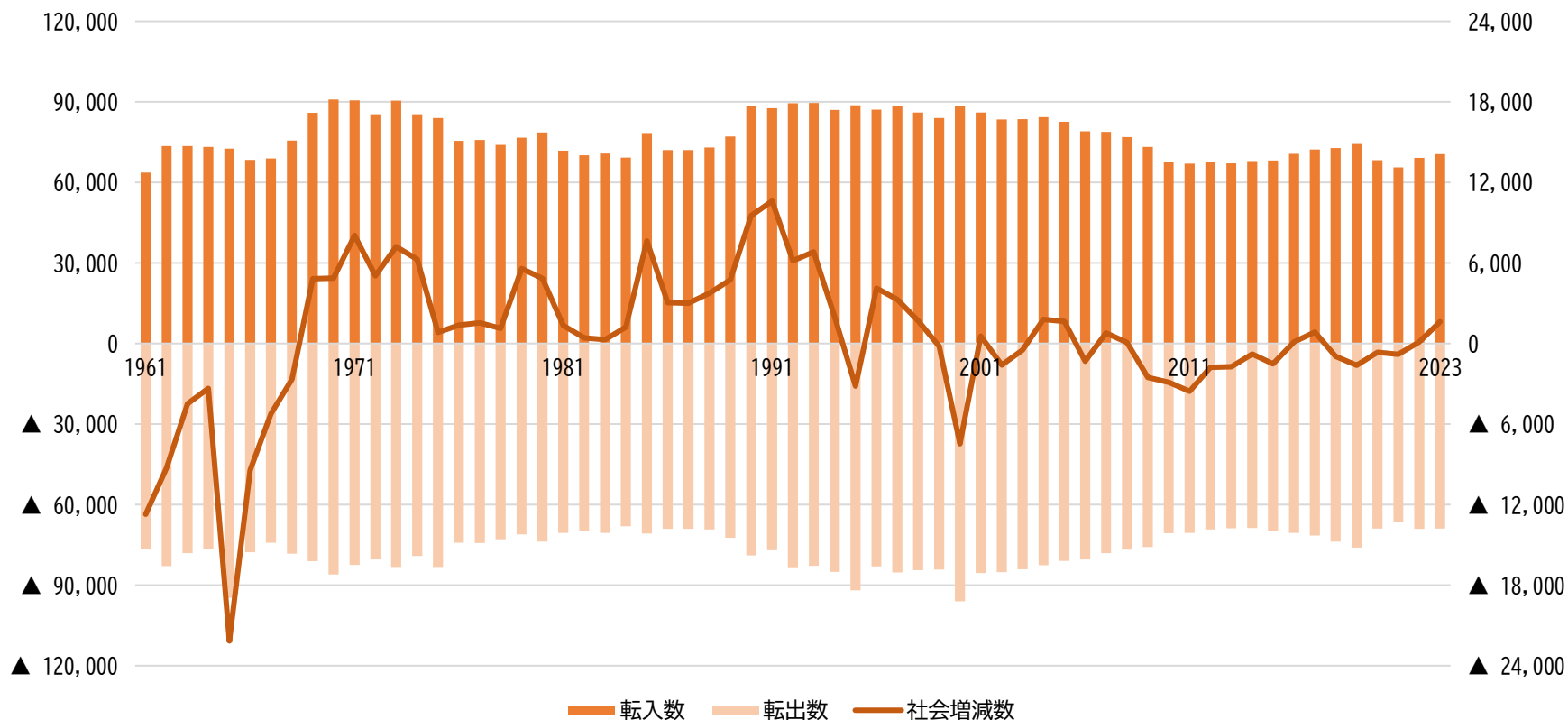
転出数は68,933人(対前年75人減)となった。

	R5. 10. 1現在	R4. 10. 1現在	対前年比
転入数	70,560	69,122	1,438
転出数	68,933	69,008	▲75
社会増減数	1,627	114	1,513

〈社会動態の推移〉

(転入数・転出数)

(社会増減数)



4 年齢別人口

令和5(2023)年10月1日の県人口を年齢3区分別に見ると、15歳未満人口は209,741人、15歳～64歳人口は1,085,386人、65歳以上人口は564,299人となった。

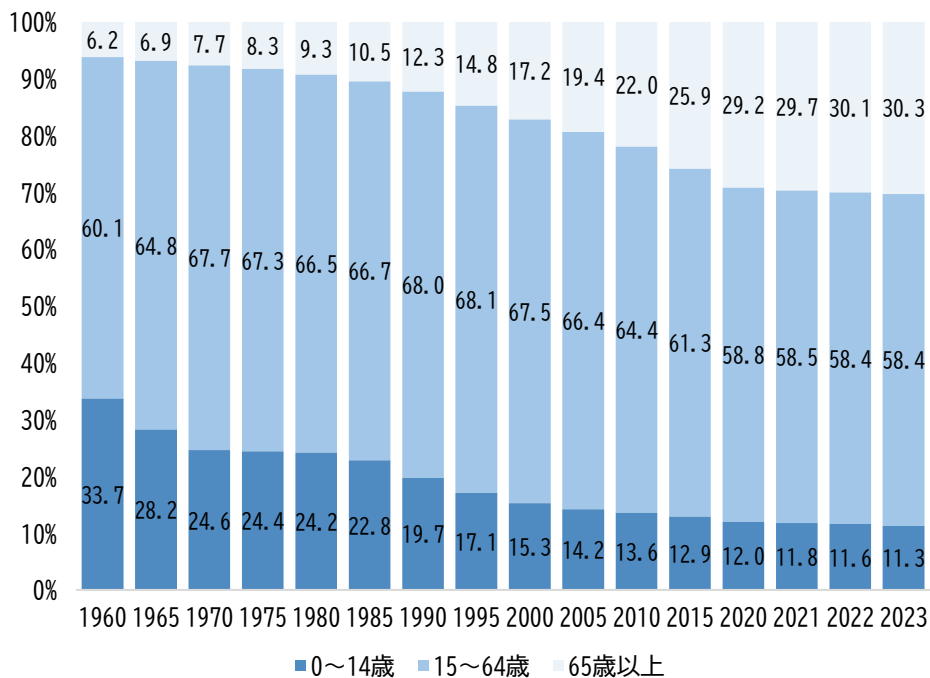
構成比を見ると、15歳未満(11.3%)が過去最低となり、65歳以上(30.3%)は過去最高となった。

年齢区分		R5. 10. 1現在	R4. 10. 1現在	対前年比
人数 (人)	15歳未満	209,741	216,405	▲6,664
	15～64歳	1,085,386	1,093,378	▲7,992
	65歳以上	564,299	562,998	1,301
	総数	1,859,426	1,872,781	▲13,355
構成比 (%)	15歳未満	11.3	11.6	▲0.3
	15～64歳	58.4	58.4	▲0.0
	65歳以上	30.3	30.1	0.2
	総数	100.0	100.0	-

※年齢不詳人口を除く。

構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、内訳の合計と総数は一致しない場合がある。

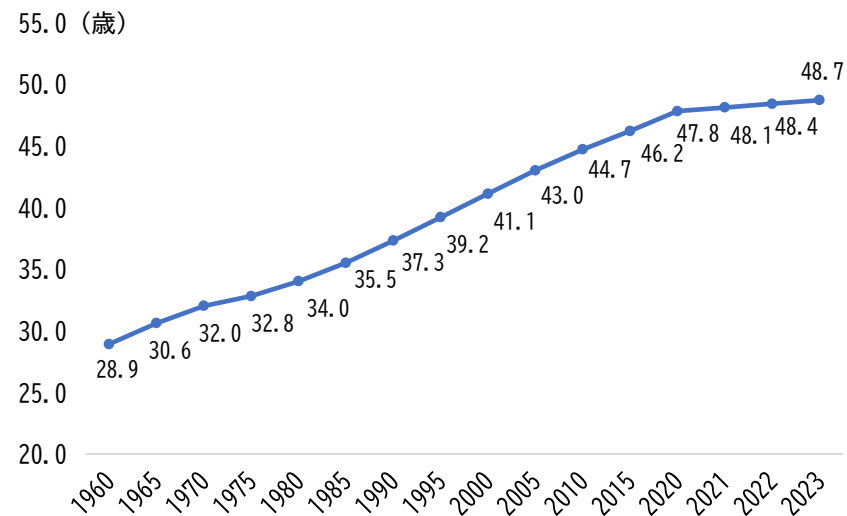
〈年齢3区分別人口構成比の推移〉



～平均年齢～

令和5(2023)年10月1日現在の県人口の平均年齢は48.7歳で、令和4(2022)年10月1日現在(48.4歳)に比べ0.3歳上昇した。

〈平均年齢の推移〉



5 世帯

令和5(2023)年10月1日現在の世帯数は816,095世帯

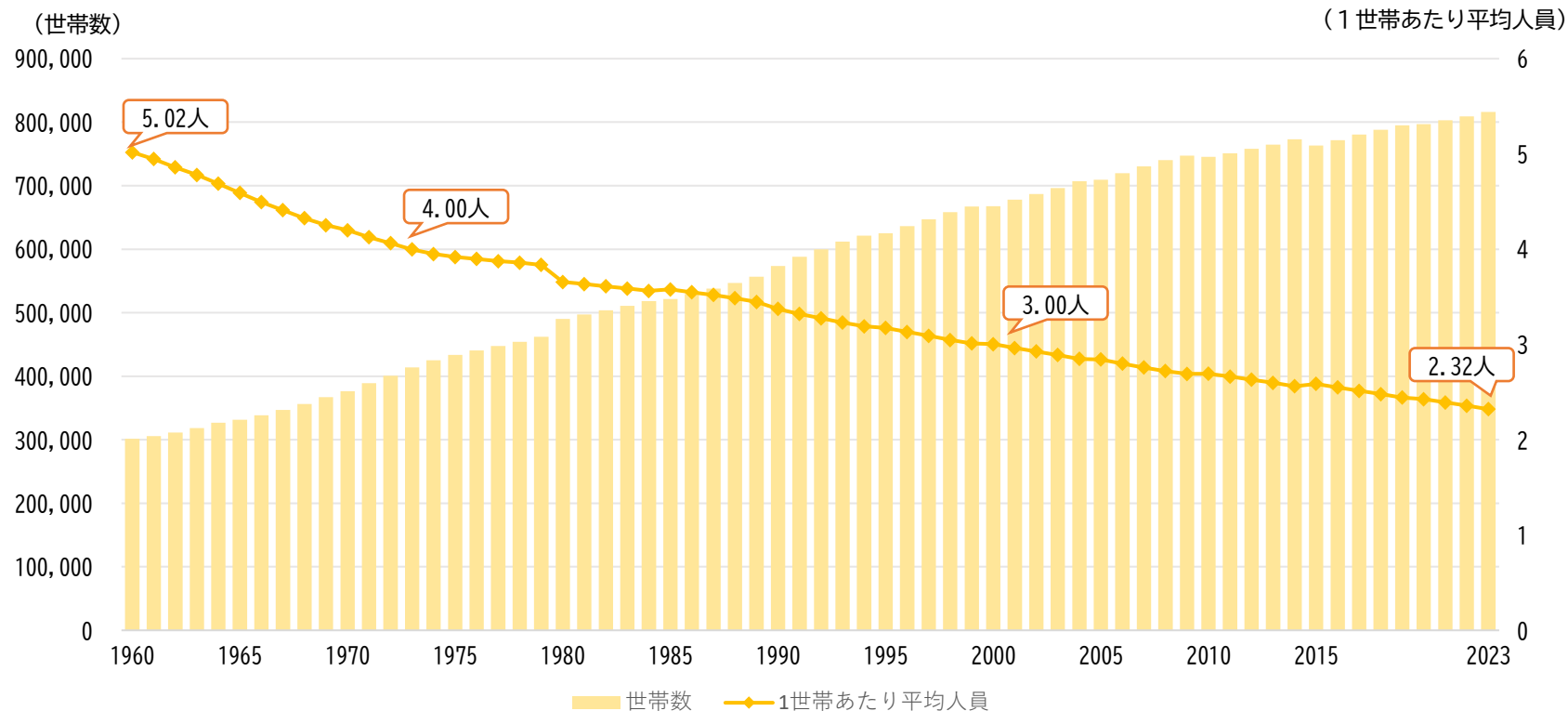
(対前年6,843世帯増)となった。

1世帯あたりの平均人員は2.32人(対前年0.04人減)

となった。

	R5.10.1現在	R4.10.1現在	対前年比
世帯数(世帯)	816,095	809,252	6,843
1世帯あたりの平均人員(人)	2.32	2.36	▲0.04

〈世帯数と1世帯あたり平均人員の推移〉



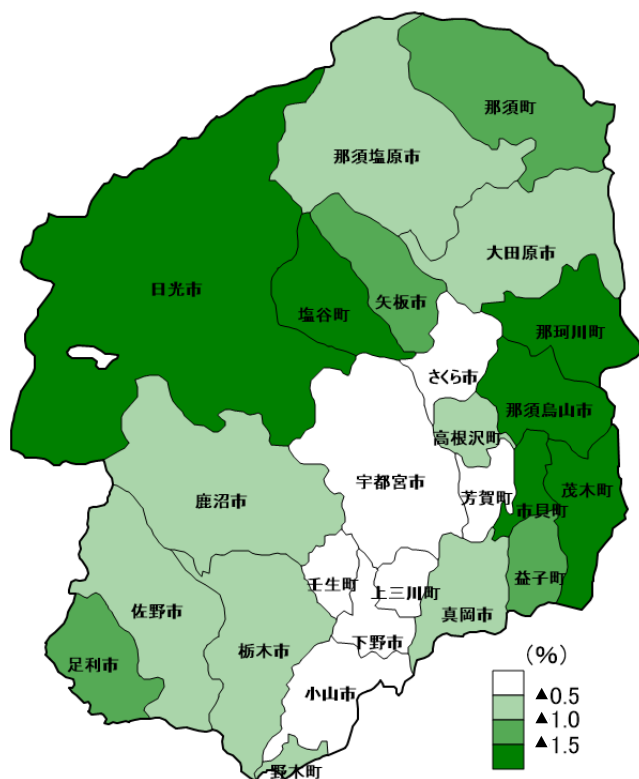
6 市町別の状況

(1) 人口増減

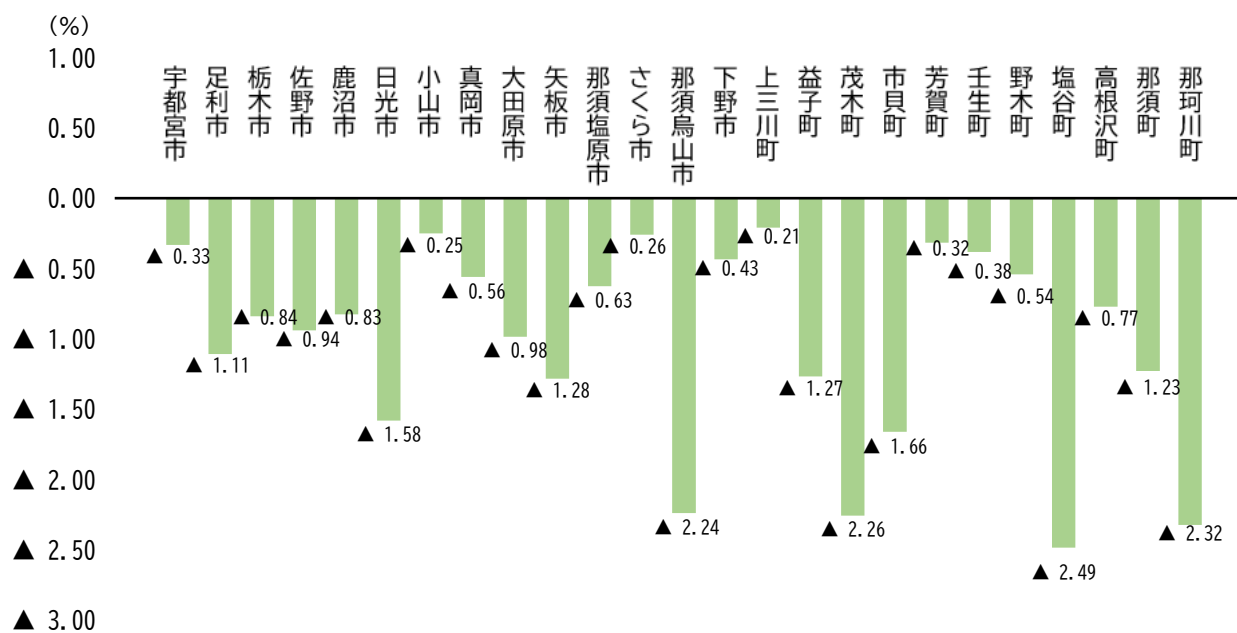
全ての市町（14市11町）で人口が減少した。

減少率が最も高いのは塩谷町（▲2.49%）、最も低いのは上三川町（▲0.21%）であった。

〈市町別対前年人口増減率分布図〉



〈市町別対前年人口増減率〉

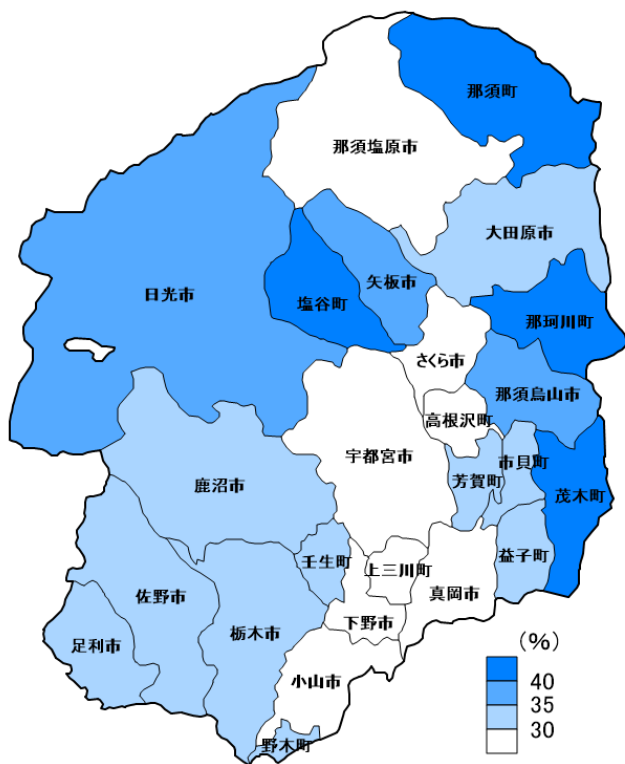


(2) 年齢別人口

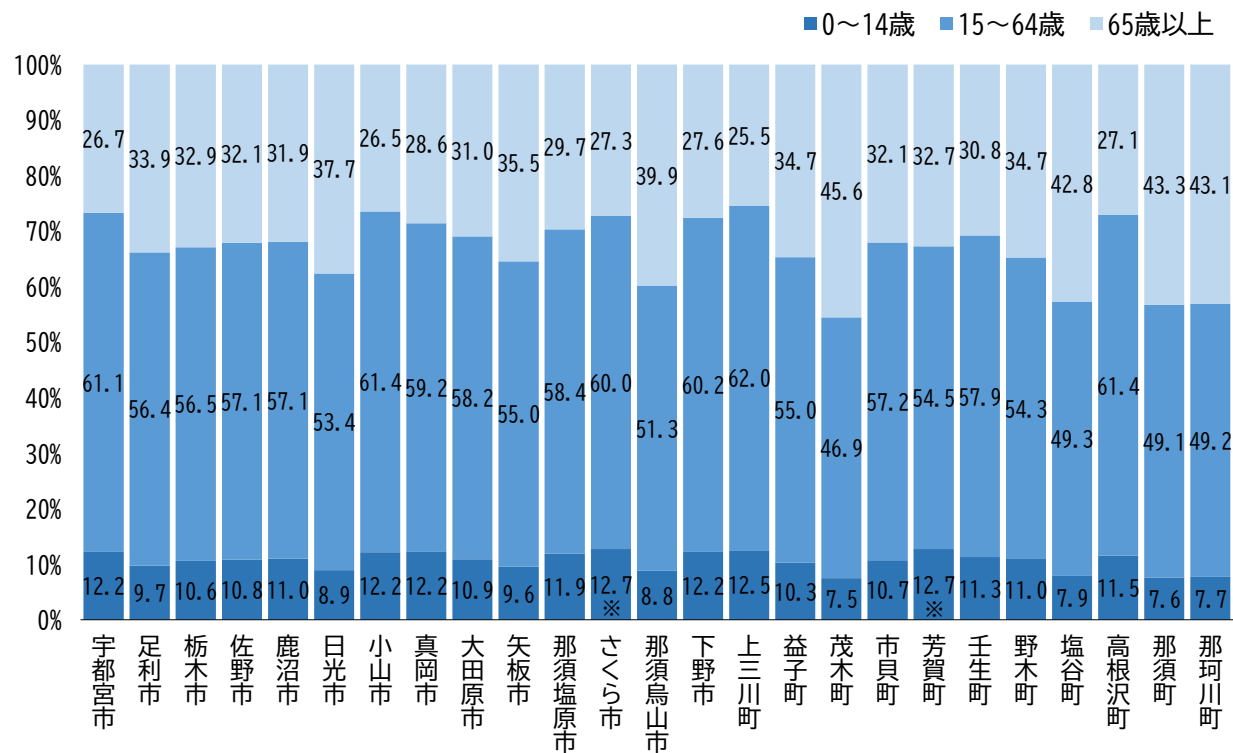
15歳未満人口の割合が最も高い市町は、芳賀町（12.7%）であった。

65歳以上人口の割合が最も高い市町は、茂木町（45.6%）であった。

〈市町別65歳以上人口割合分布図〉



〈市町別年齢3区分別人口構成比〉



※15歳未満の割合について、さくら市と芳賀町が同じ数値（12.7%）となっているが、表章単位未満の値を含んで比較すると芳賀町の方が高い。

(参考)本県の人口ピラミッド(令和5(2023)年10月1日現在)

